

弓削通信

発行者・平山和昭
〒794-2509愛媛県
越智郡弓削町土生
318-2 FAX&電話:
(0897-77-3072)

明けましておめでとうございます

本年も歯に衣させぬご意見
お聞かせください。
さて愛媛と言えれば俳句です
が、こういう言い方をすると
俳句命とされている方には誠
に申し訳ないが、この短詩形
式はたしかに面白い。集中力
を養い、頭の体操にはもって
こい。子どもから年寄りまで
レベルに応じて楽しめること
ろが実にいい。

ある日、つれあいがノート
に何やら書き付けている。聞
けば、新聞に連日掲載される
コラムの俳句から、季語だけ
を拝借し、一日一作するのだ
と言う。素人は勇敢だ。季語
も知るためだそう。筆者と
てその上を行く素人だが、面

白そうなので仲間入り。ただ
し本業の造船所の工員はケガ
と隣り合わせの毎日だ。句作
は起床して朝食を済ませるま
での三十分限り、と決めた。
やればできるもので毎朝、
大抵はトイレでの三分間ほど
の集中でなんとか一句ひねり
出す。もちろん仕事中は俳句
のハの字も思い出さない。
そういう安直な姿勢だから
作品は思いつきばかりだが、
うまいだ、へただとの批評に
耳を貸さねば、こうして惚け
防止にむけて努力できるのも
俳句の効能かも知れない。
というわけで、恥ずかしなが
ら勇気を出しておみせする。

先達の後より拝む初日の出

11/29	木枯らしが抱き来し音を海に解く 米沢吾亦紅 飛砂
1998	木枯らしをまっぴひねもす高楊枝 追いすがる木枯らしもまた猛き友 ゆげる
12/5	よく眠る夢の枯野が青むまで 風あり閑ありて命めぐる枯野 ふと見ればはせを抱きし枯野かな 金子兜太 飛
6	銅像の正造に強ふ日向ぼこ 網繕ろう手も波も止み日向ぼこ ゆくすえは三十六計日向ぼこ 平畑静塔 飛
11	冬麗の不思議をにぎる赤ん坊 冬麗小憩兄弟の稽古着 冬麗しみとほる猫の舌 野澤節子 飛

14	眠りをる母討ち入りの日なりけり 討ち入りの時刻ラジオで「マイウエー」 討ち入りが兄の命日闘病記 中西夕紀 飛
16	大仏と冬日を仰ぎ過去へ旅 バックミラー冬日乱れて皮衣 冬日背にまえとうしろの暖かさ 原裕 飛
19	地球儀を廻す冬瀟起こすべく ガラス片つき立て冬瀟風囃す のり越えてきたる冬波世界地図 坂本宮尾 飛
20	冬の日や前に塞がる己が影 冬の日や天に鳥売るおろろん鳥 冬の日よ悪意はしるや電脳網 村上鬼城 飛
24	恋めくよ聖樹の蔭に人待てば 片手にクリスマスツリー父探す 深更の聖樹額どる北斗星 肥田塾勝美 飛
25	交響曲第九門扉に注連飾る 若い衆に注連飾られてシニアカー いつの日の注連か軒端に風ゆきて 辻脇系一 飛
26	年忘れ帽子忘れて帰りけり 年忘れ男の夢や熱気球 年忘れ猪口の不平を分けて呑む 山田みづえ 飛
28	数へ日の欠かしもならぬ義理ひとつ 数へ日の記事十四才の魂を問ふ 数へ日や白衣の腰のなまめきて 富安風生 飛
30	泰西の名画にもなき雪の富士 瀬戸の島ひとつほどあれ雪の富士 世迷ひの悲しび糧に雪の富士 島村正 飛
31	大年の宙にあひあふ月と富士 大年の区切られし恋Eメール 大年やあかあかあかあかとなく鳥 吉野義子 飛
1/3	初湯して恋の傷など一切無し 親の親・子の子を思う初湯かな 初湯してやっと去年の垢の去ぬ 柴田佐知子 飛
4	いま触れてゐるは唇福笑い 眉よ目よ手渡しうれし福笑い 心根の優しさ見へる福笑い 森田峠 飛

弓削町の福祉に関するアンケート

- 該当する答えに○印を、もしくは記入をおねがいします(町外の方もご意見をどうぞ)
- 1、少子・高齢化・人口減について
 - a 問題だが打開の道はある
 - b 問題だが方法はない
 - c 問題ではない
 - 2、弓削町の福祉行政・施設について
 - a 十分だ
 - b 不十分だ(例えば 分野)
 - 3、設問2に関してアイデアがあればどうぞ
 - 4、町民の健康増進が目的の海水浴施設が出来ることになりました。あなたのご意見は？
 - 5、高齢者福祉についてご意見がありますか
 - a ない
 - b ある()
 - 6、「うるおいと夢のある緑のふるさと」弓削町の実現に向かっていると感じますか？
 - a はい
 - b いいえ
 - 7、あなたの住所は

町内	町外
世代は	才代 女 男

ハガキを切り離し切手を
はらずにお出しください

県知事も4選を目指した現職が退くことになりました。いろいろ話題が多かった知事選でしたが、こうして民意がはっきりしました。新知事と同様、私たちも、よりよい故郷の創成に向けて努力が求められます。

経済の高度成長時代、バブル景気時代、そして低成長時代へと私たちは翻弄されてきました。一方、曲がりなりにも、豊かさを味わうことが出来るようになりました。

衣食住足りなかつた時代、

人権が侵害されることの多かった時代など、それら乗り越え現在にいたってみれば、さりながら、満ち足りない思いもあるのではないかと思います。

弓削通信は第2回読者へのアンケートを行ないます。あなただけの福祉について、あなたの考えを伺います。結果は公表します。今回も前回に劣らずご協力をお願いします。



7 9 4 - 2 5 9 0

愛媛県越智郡弓削町
土生 318-2

弓削通信 平山和昭 行

郵便切手はいりません

料金受取人私
弓削局承認
5
差出有効期間
平成11年2月
28日まで



十二月十六日に開催された定例議会は例によって町長の諸般の報告に続き一般質問、上程議案の審議・評決、本会議終了後の議員同士の懇親会で幕を閉じました。

『議員懇親会』

懇親会は経費は個人弁済ですが、従来は理事者及び一般職の長を交えての合同懇親会を持ってきました。それなりの有用性もあり、が勤務時間にわたる場合などさしさわりのないのかという意見が議員の中から出、こうした慣例も見直して、いこうということ、今般は理事者四役のみの招待でした。

議 見 聞 記 12月定例議会 26

しなかつたり辞退したりしたことがあったり、で結果的には現状の方が、法が有利と判断している、というもの。
●地域振興券(商品券)の運用計画についての質問もありましたが、政府でも煮詰まっていた状態なので具体的に決まっていな。平成十一年四月頃から整いしだい実施したい。本町の該当者はおよそ千五百人との答弁。

平山の質問

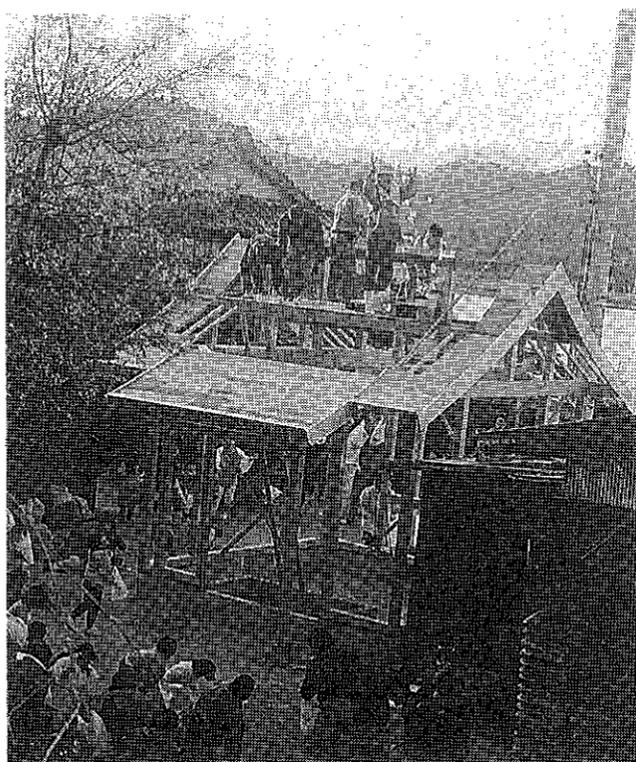
●弓削町CATVによる議会実況中継について。
たびたび提案している議会の実況中継が実現できないのはなぜかと質した。職員能力や技術の面で難しいとの答弁だったので、職員は努力しているし世間に見本が無いわけでもない。いつまでにやるんだと目標を定めれば必ず出来る。民間はそう

(ご意見がありましたら何でもお書きください)
(きりとり線)

やって問題をクリアーしているのだからがんばってほしいと注文をつけた。
●弓削町情報公開条例の制定について。
本町の条例制定はいい、という内容。
●町営診療所の開設について
高齢者福祉の充実のために町営診療所の開設が必要ではないのか。将来を見据えた福祉の充実に関し、医師確保についてどう考えているのかと質した。
町長答弁は、大事な課題の一つと認識しているが医師の確保が難しい、とのことでした。もと魚島村の菅井医師の例をひき、あらゆる努力を惜しまないよう要望した。
(議員・平山和昭 記)

双眼鏡

☆かど松も外す頃になって並みの寒さになりました。風邪を召した方、お大事に★不景気風も相変わらずで政府の対応もお多福風●本質からズレた政策は瞬時に世界に知れ失笑と共に日本の株も下がります
◆電脳を駆使し一国の国民所得を上回る金を一部の投機家が各国でその場限りの跳梁をさせているマネーゲーム●銀行等の幹部、資本主義の鬼子らの仕事を裁く倫理風は吹かないのか♣有名無名作家たちによる童話の競争を新連載。



土生(はぶ)地区・江戸時代の義民 庄右衛門の御堂が子孫の手で建て替えられる



風ばあさん
はやしばらたまえ

風ばあさんが、てんじん山のとっぺんでいねむりしていると、「かー、かー、風ばあさん」と、どこからか声がふってきた。
「あーい、あーい、だれかあたしをよんだかーい？」
風ばあさんが、きよるきよるみあげると、松の木のとっぺんに、からすが一羽。
「かー、よんだともさあ。
風ばあさんてば、今日は、風をおこさないのかい？」
「今日はおやすみだよ。だって、風おこすの、めんどくさいもの。肩もこるし」
「でも、風がふかないと、こまるよ」
「なんで困るんだい」
風ばあさんは、からすをきることにらむ。

「かー、さつき、太一が泣いてたよ。せつかく苦心して作った、たこ、ぜんぜんとはないんだもん」
「ふうん。そっか。太一のためなら、肩がこるのも、しかたないかな」



風ばあさんは、よっこらしよっこ、こしをあげて、それから、てんじん山の大岩の上に立った。それから、ながいスカートですす、両方の手でもちあげると、ふもとめがけて、ばっさばっさばっさ……ふったのさ。スカートから風がびゅうびゅうおこって、ふもとへふきおりにいった。
「太一のたこ、ちゃんとおがったかなあ。見ておいで」
風ばあさんは、松の木のとっぺんの、からすをふりむいて、ウインクした。

弓削通信

発行者・平山和昭
〒794-2509愛媛県
越智郡弓削町土生
318-2 FAX&電話:
(0897-77-3072)

ふくよかな弓削の文化人になりたいたいなあ・・・

人が五十年も生きれば大なり小なり人生で味わう喜怒哀楽のおおよそは体験する。その体験は「理解力」という形で各自に蓄積される。言葉なり出来事なりの意味するところが「わかる」というのがそのことで、世間では「ちがいのわかる」人は文化人と呼ばれる。しかしながら世間には「わからん人」もまた相当数いるようだ。さて、そのわからんじんは大別して二種類あると見受けられる。ひとつは善意のわからんじん、もう一

方は悪意のわからんじん。善意のわからんじんは自己犠牲と思い入れ過剰になりがちなので、自分のしたことの評価が低いとすぐく傷つく。悪意のわからんじんは自己顕示欲が強く物事を相対的に考えるのが苦手。で、自分で自分の品位を傷つけがち。だれひとり他人と全く同じ生涯はない。だから厳密に言えば、人は自分以外のことは解からない。そこでという

民草は摘まれるばかりか路の藪——

べきか、他人との意思疎通がいかにも容易でないかを識る。日ごろ他人の語りや耳を傾け、他人の書いた物を読み、そのしぐさを見、そして自らもなにかの表現を試みることは充分意味のあることである。誰かが何かに仕掛けた意図を読み解く力はそんな日頃の小さなトレーニングに負うところもまた大きい。あるいは「文化」として、そうやっていろいろなものを取り込みながら醸成されていくもの、ではないのだろうか。

力に、と言うような旨の新聞報道もあった。(たとえば先月十七日付け中国新聞など) かつて弓削町アイランドリゾート構想(ゴルフ場開発は凍結)があった。今は全町公園構想。そして新たにアイランドテラピー構想...。離島の「らしさ」を売り物にと言いつつ何かをつくる都度その具体的な「らしさ」を潰していく。「らしさ」を換金しているわけだ。こうしてみるとなんだか私たは文化の素を喪いつつあるのではなからうか?それともこれは、新たな文化?文化を保持するのは人。その地に住む人はことさら言わずともみんな同文化人。が、私は、さらによき文化人になりたい。もちろんほかの人も同じ思いと信じて。より正しい理解力が欲しいからだし、「言葉の本義の矮小化」が恥ずかしいからだ。

◆県外に通院して寝たきりになって往診してもらう場合島内の医院に不安を持っている年寄りの方が多いです。(間に合わない)

町営診療所の開設をぜひ努力して欲しいです。

◆来る4月30日をもって定期船時間表が変更されようとしている。弓削港入港船がぐっと減るでしょう。弓削港湾計画も今の計画を中止してはどうか。町財政も助かる。利用者も二百メートルも歩かなくて済む。町民も喜ぶ。一年中どんな風が吹いても出入り出来る今の棧橋が最適。責任は誰が持つのか。

◆十年後弓削町の高齢者はどんな運命が待っているのでしょうか。町に期待していいのでしょうか。淡路島や中国山地の(御調町)ふれあいセンターなど町長にその意志があり実現しています。今度出来る新しい港などより先にしてほしい。町の意識を変え温かい福祉行政を望みます。

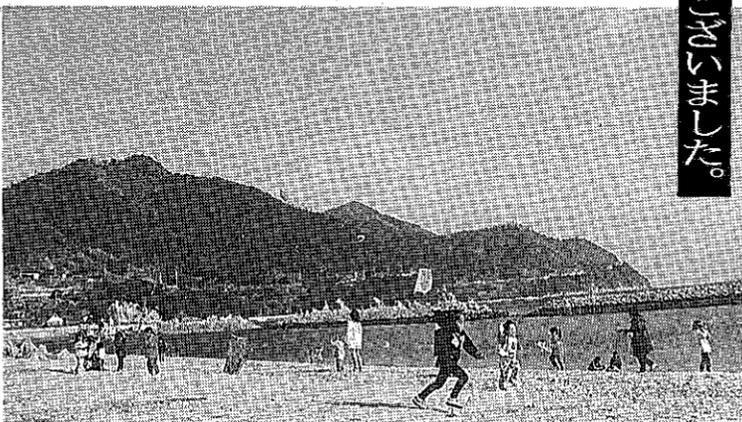
◆高浜荘のような施設があってもお金のいる人、動ける人しか利用できません。将来一人暮らしの老人がたくさん増えます。一日も早い老人ホームの建設を望みます。

◆海岸、道路工事、長期展望に立って工事をしてほしい。貝がいなくなりました。小貝を買って育てる場所を決めて増やしたら?。議員の人数を減らしてほんとうに意見を持つ人だけでじっくり町政を考えてほしい。

◆観光といってもネックは船便での交通費が他と比較して高い。特に車での移動は。町営フェリー(弓削・因島間)なんて夢のまた夢だろうか?

アンケートありがとうございました。

2月4日現在52通のご回答。内、ご意見を書いてくださった方、32通。質問に対する回答の集計等は次号で、ご意見欄は今号から紹介します。スペースの関係で掲載できなかったものも次号。引き続きお寄せください。掲載は着順。通信編集者もしくは行政責任者以外の特定の個人の攻撃にあたると思えるものは割愛しています。また趣旨を損なわない範囲での短縮をさせていただきます。私たちが弓削町はどうあるべきか一緒に考え、その実現に向けて共進しましょう!



◆人通りのすくない金比羅サンのカーブ、阿土より鎌田に上るカーブ等にバラスを散らさない様に伝えてください。今井工場東側の道路に車を止めておかないように。大型車が頻りに通るので危険なところだ。

◆一日も早い町営診療所の開設、そして安心してかかれる医師をさがしてほしい。多くの年寄りが願っています。

◆必要以上の広い道路はいらない。何のためにこんなところに屋根付きの休憩所みたいなものがある?と思えるところがある。道路沿線の植え木等の管理不足。(特に池から橋に至る迄の植木、何本枯れたか腹立たしい思いでした)ここ2年ほどカキがいつもの所でとれなくなりました。海岸が変わりました。だんだん砂が岩場を埋めているようです。

◆人口減少は行政が手を打つのがあまりにも遅いし、危機感がなさすぎる。こんな工事ならせんかったら良かったという工事が多すぎる。小学校を一つにしてほしい。私が小学生なら友達が多いほうがいいから。保育園、幼稚園は弓削に来ているのに?。行政は町民を無視しすぎる。なにをするにも町民の意見を聞いてほしい。町民はいてもいなくてもいいような気がする。

◆生名と佐島を結ぶ橋を架けてほしい。

◆最近の弓削通信は文化人になりたいたい発行人の姿が見えるばかりで、弓削通信の存在価値が見えてきません。今、何が言いたいのか、何を言うべきときなのかもう一度原点に戻って考えるべきだと思います。貴方が出したかったのは俳句の同人誌ですかそれとも親子劇場のパンフですか。

◆少しばかりの施設や緑で町は良く成る訳がない。コンピューターを入れたら人をへらし、老人ボケは三代が一緒に住む方法で行かなければいかいけつする訳がない!!何人かいごをやとおうとボケのなくなる事はない。

◆夢は農業と漁業を充実させることで、うるおいは人を育てることで...!!人と地域の産業を育てる事にお金をつかってほしい。公園はもう必要ありません。自然を破壊し、不必要な防波堤も必要ありません。

◆頑張ってください。応援しています。

◆緑みどりと言って一日何人も草かりに金かけたり緑地グループに金はらったり...遊びっぷり見たことあるんかいナ

◆診療所開設についての事ですが、今から14年前、高橋医師が去られた時のある町議を通じて町で医院を買ったかどうかとの話しをして頂いた所、町としてはNOと云う話でしたが、現不況下にあっては不要ではないかと思えます。

◆議会の傍聴には行けません。質問する人が限られているようです。もっと自分の考えを持った人が議員になるべきです。そうでない人はもう出ないでほしい。そのためにももっと勉強して町民の意見を聞く場も作ってください。道路を作るときには早く住民に計画を知らせてください。納得できるまで説明会をしてください。国でも農業に目を向けてきました。弓削町も農業に力を入れて水田を若者といっしょにできないだろうか。

(裏面につづく)

岩城 毎年恒例の桜まつりは四月四日から積善山一帯で開催の予定。山頂からの眺めは天下一で、道路は乳母車を押しでも登山可能

瀬戸田 公共ホール音楽活性化事業の一環としてプロの音楽家を招き、演奏会や各小学校、幼児、保護者対象の交流会が実行されている。

因島 昨年十一月市議会で『生活安全条例』が議決された。社会情勢の変化や、しまなみ海道開通に伴う犯罪や事故の未然防止が目的。

3月17日(日)から再会します
3月17日(日)から再会します
3月17日(日)から再会します

3月1日(月)チケット発売開始

ベル・カントホール13周年記念

米良美ーリサイタル

と き ● 1999年 **4/29** (木) 開演/PM 5:00

と ころ ● **ベル・カントホール**

入 場 料 ● 全席指定 **3,500円** (当日4,000円)

※チケットはベル・カントホールのみ取り扱いとなります。電話による申し込みも受け付けています。
申し込み・お問合せ ● ベル・カントホール ☎08452-7-3848

主催 ● ベル・カントホール公演実行委員会、中国新聞社
後援 ● 瀬戸田町、瀬戸田町教育委員会、広島県しまなみ海道99イベント協会

春休みの人形劇です

カマキリと月

しまなみ海道99

因島おやこ劇場 地域公演

3が30にち(火) ①14:30~②18:30~

中庄老人集会所

☆参加費:3歳以上一人1,000円
7歳以上一人1,800円

後援:因島市、因島市教育委員会、因島市文化協会、瀬戸田町、瀬戸田町教育委員会、瀬戸田町文化団体協議会、生名村、生名村教育委員会、生名村文化協会、弓削町

『ふるさとの集い』に参加。ひらたけとなめこ菌を植えた栽培木は、いま庭で春雨に打たれている。思い立って昨日水をやったばかり。世にはいつも潮時というものがあ、遅速相前後しても必ずなんらかの形で調整される。人智及ばぬところでコントロールされているのか。心されればわれら日々真摯なる努力でもって足りる、とも言えるのか。春は物思も多い。渋谷区の社会福祉法人『浜都』が同区に建設中の老人ホームは四月中旬には開所の運びとか。本町出身の岡八代美さんの持続する夢と努力が実を結ぶ。心うるおいと夢。いい言葉です。(平)

ゴンスイにゴ用心!



10~20cm

★大量発生しているとの情報あり。昼は浅い岩陰などに潜んでいて、黒っぽく縦縞がある。背・胸びれにオコゼ並みの猛毒あり。磯遊びで見つけてもちょっかい出すな!刺されたらまず医者。民間療法では楠を焼きその煙でいぶせば痛み和らぐ由。

道鏡禅師供養祭

4/7(水) 13時~

▽13時~14時 法要・墓参

▽14時~15時 薩摩琵琶演奏

長澤碧水師

▽15時~16時 交流会

南河内町龍興寺 (栃木県) ☎0285-48-0115

参加費 無料

問い合わせ先 小林昌三九 ☎0285-53-2195

※6/27(日) 田村会長・懇切会員による道鏡会臨時総会 古河市スペースUにて

離島医雑感

延岡市立島浦診療所長 菅井健二

あったかいところ つよいからだ

平成11年1月21日

〔僻地医も世界規模で募集したらどうでしょう〕

都市には医師が多すぎるのにへき地では医師が確保できない。何とかせよ、ということで自治医大ができたのですが、二十年を経ても一向に解決されていない。一県一医大もそれ程の役には立っていない。私はこの課題で極力議論を進めようとしているのですが、大学の連中とはカチ合わず、ギアが巧く回転しません。大学の連中は表面を滑るだけ。肝心の卒業生、へき地医がその気になっていない。日本という国、日本人という人種は「お上」がこうしなさいと決めなければ何も完成できない集団、構造なのか。いや、やはり個人の使命感、それを育成する教育者の質が先行するように、私には思えます。例えば自治医大の学長始め教授陣は東大系が多数ですが、彼らはへき値医を育て上げる内的精神構造を持っていません。一県一医大の教授陣にもこの事は当てはまります。改めるべき事として、自治医大の教授陣には日本だけでなく世界規模で、へき地医教育、養成に最適な人材を集め、且つ学生も日本人よりも海外の青年を入学させるほうが、へき地医療解決の糸口になると、私は信じています。へき地医の「なり手」がなければアジア・アフリカから学生を募集して、へき地医を養成したらよろしいというのが私の考え方です。

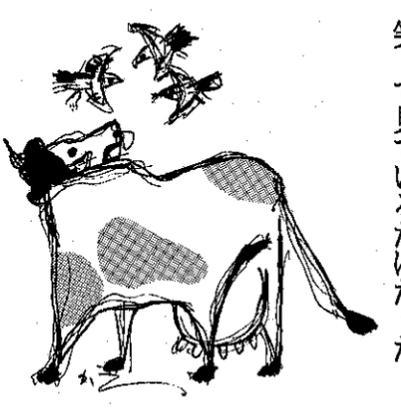
(編集子・注『離島医雑感』今号は、スペースの都合で菅井医師からの私信を参考までに掲載します)

ところが、ナキスケだけは勝手がちがった。暇さえあれば大声で鳴く。まさに熊が吠えまくっている感じだ。じいさんはそのたびに「あたふたと牛舎に駆け込む。頭の一つも撫でてやると鳴きやむが、一時間と、もたない。」「とうちゃん。私、鳴き声が聞こえんところで寝ます」八月の末、寅さんはバス停二つ向こうの妹の家に行ってしまった。

黒い瞳の大きな体の、良い乳をだす、ナキスケ……。さんさん悩んだ末、じいさんは、売る、と心をきめた。

「なんぼ鳴いてもええ広いところ、可愛がってもらえ」ところがどうしたとだ。ナキスケがいなくなったとたん、今度はナキスケの子牛が「グモオ、グモオ……」

おわり



子牛の時は放牧場で自由に育てる。が、いったん乳を出すようになるると牛舎だけの生活になる。すると、牛達はおおいに退屈する。給水器具の弁をふんずけたり、角で柵を刺したり、かじったり……。耕じいさんはそんな牛達を笑って見ているだけだった。

「グモオ、グモオ……」四月のまだ寒い夜中、牛舎で一頭の牛が鳴きだした。「クソッ。またナキスケだ」耕じいさんは蒲団からはいだすと背を丸め出た。隣で寝ていた妻の寅さんは、ためいきをつくと、頭からすっぽり蒲団をかぶった。

三十頭もの牛の世話は七十すぎの老夫婦にはきつすぎる。と町に住む子供たちは言ったが、じいさんは聞き入れなかった。何よりも牛が好きだったからだ。

鳴く牛

書き下し 童話

おはなこみち

おのみち

林 元子

弓削通信

発行者・平山和昭
〒794-2509愛媛県
越智郡弓削町土生
318-2 FAX&電話:
(0897-77-3072)

1999/3/15
金妙珍 様
日本部陪同・C・T・S・北京

拝啓
親愛なる金妙珍さん。

貴女達が私共の為に様々な企画を盛り込んで上海と北京を案内してくださった事に、心から感謝と御礼と、そして尊敬の気持ちを込めて

「謝謝！」と申し上げます。中国に関しては、例えば貴国の古い歴史書、史記をはじめ、いろいろな研究出版物、最近では映像報道等によって、日本人には多様な先入観が有ると思えます。私も其のような一人です。

私の先入観はさしずめ先の戦争で日本が見せた、貴国への飽くこと無き欲望と、その不幸な結果による両国民間に芽生えたであろう不信感の存

在と継続。そして

所謂「地大物博」のお国柄なのに、長い間の帝国主義諸国(謀略と強奪を常とするので先進国と呼ばれます)の経済的、軍事的侵略から自由になるために選択した政治体制が産んだ、結果としての権力者層の固定化と、理念とはかけ離れた貧富差の存在。又、国土が広大であるが故の教育を受ける機会の不均等の存続。

嘗ての(若しかしたら、現在も続いている?)中華思想と、それを支えている陰の要素である人民の「馬々虎々」(この事は、貴国の思想家魯迅がその著「野草」で中国の発展を阻害する最も大きな要素として、断腸の思いで語っていますね) それやこれやの総合として私の中の中国像は、大衆が貧しさを脱却できない国、として在りました。

春風や黄砂まぶしき紫禁城

ゆ

三月二十六日(二十九日)町議会議員の中国研修旅行が実施された。四年に一度のこの旅行のための旅行積み立金は月五千円也。今回の旅費は宿泊費のみで十四万円ほど。帰国後現地で世話になった「中国国際旅行サービス社」のガイド・金妙珍女士に旅の感想を兼ね礼状を出した。その写しを研修報告の代わりにする。
女士は京都大学に留学し史学を専攻。日本中を旅し、帰国後は旅行社で実務を担当し各



このほど北京市長から優良ガイドとして表彰を受けた。

敬具

今、貴国では先進自由主義諸国が、発展の結果抱え込むこととなった諸矛盾をも同時進行で抱え乍ら、これからの発展を成さんとしています。

子どもを過保護にせず社会性と自立心を涵養する政策、例えば小学校を終ると一週間ほど軍に入隊し共同生活をさせるとか、両親が安心して働けるための保育施設、例えば毎日保育・週間保育の選択肢など、日本のように費用の個人負担ではとても考えられません。

高齢者の世話は、近隣の老人が互いに助け合う暗黙の了解があるなどと聞くと、政府と国民の意識は、公と私の負担について余程合理的な所で落着いているようです。

老後の生活を保障されている老人達は自分の楽しみみの為に、例えば海外旅行などに貯金を使い始めたなど、新しい動きも興味深く伺いました。一方、日本への密航事件が

後を絶たないことについては「中国人の入国を自由化しないから日本への幻影が無くない」とのご指摘も一理あるところでは。

街では軽い文化的衝撃も受けました。貴国の若者たちは我々が日常目にする流行服に携帯電話。考えれば不思議に非ずです。日本に流通している衣服の多くは中国で仕立てられているのですから。

日本製の家庭電化製品や自動車、音響機器が店頭を占めているのも意外でした。そして、いたるところが工事中。中国は活力に満ちている、でした。

都市部での一人っ子政策と経済の開放路線は、予想以上の速度でその結果を吐き出し進行している様子です。

貴女が案内してくださった極上の上海、北京料理にも堪能しました。

「貧しいけど豊か」あなたはそうおっしゃいましたが、まさに言い得て妙でした。

五十数年前、無道な我国によって始められた貴国との戦争の後遺症は、簡単に癒える筈は無いと思えます。それ程の出来事が有ったのです。その認識が日中友好の要です。日本には中国に対して精算せねばならぬ懸案がまだまだに残り、結局、日中友好は民間での関係改善が先立つ事になりました。そうした中でたゆまざる橋渡しをしている貴女方に、日本国も感謝状を捧げるべきだと、私は本気で思っています。

では、いつの日か又お目にかかれるでしょう。再見。

離島医雑感

延岡市立島浦診療所長
菅井健二

あったかい ころ
つよい からだ



《医療の両翼に保健・福祉の三位一体型》

平成11年3月21日

弓削通信第83号、1999年3月15日発行、「今ほしいのは診療所」、アンケート結果から、各世代共通の記事を興味深く拝見しました。離島医雑感の「へき地医も世界規模で」公募したらどうでしょうの、記事も合わせて。実現は先ず困難としても自治省がこうもぐたらならこうする他無いのも事実ですからね。

日本離島センター・シマダスによると、弓削島：所帯1,455人口：3,523人。お医者さん：医院・歯科医院が一軒づつあるが、入院施設がなく、高度な医療は不可。急患は救急艇で因島方面の病院へ搬送する。とあります。

此の際、有床診療所を設置する案には大いに賛成ですよ。それも21世紀を踏まえて医療の両翼に保健・福祉を取り付けて飛躍できるような三位一体型の施設です。何ベッドにするかは(法規上19以下ですが)衆議で決めるとして、島の中で治療できるものは島内施設で、何でもかんでも島外へは必ずしも良い方向とは言えますまい。

有床診療所の設置案に賛成!

島野浦島でも三位一体型の施設を造るように市役所に進言して、23から25日の間に五色町と御調町の施設を見学に出かけます。市役所の係+島の区長+私三人連れ。私は既に五色町に二度(一度は魚島の役場の人と、もう一度は五色町で開かれた大会に愛媛県を代表してへき地医療の事例発表の為)、御調町には愛媛県国保連合会の計画課長等と優良施設研修の課題で行ったことがありますから、言い出しっぺの私が案内役という訳です。

是非とも島の町立診療所を造ってください。これこそ島の住民の為に他なりません。必要ならその時はお手伝いしますよ。
一

【お詫びと訂正】弓削通信3月15日号の離島医雑感の記事の中で「へき値医」となっている箇所がありますが正しくは「へき地医」です。編集子のタイプミスでした。お詫びして訂正します。

弓削通信

発行者・平山和昭
〒794-2509愛媛県
越智郡弓削町土生
318-2 FAX&電話:
(0897-77-3072)
Eメール m_yugeru
@d2.dion.ne.jp

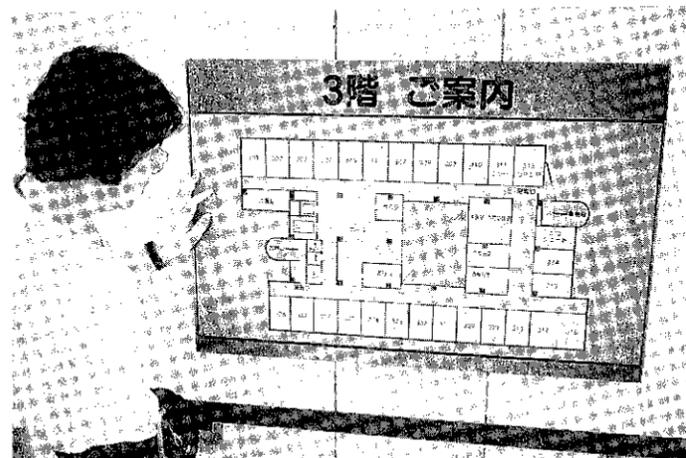
五月七日、自分勝手につくった大型連休を利用して、東京渋谷区笹塚にある『特別養護老人ホームつるとかめ』を訪問した。

同地で『保育園うさぎとかめ(うさかめ)』を長年にわたり経営してきた弓削町中都市出身の岡八代美さんは、老齡の母君を引き取り、仕事と介護をこなす中から、現代日本の福祉の根本に目が行くようになり、日本一と言われるような施設ですら利用する立場から見ればさまざまな問題を抱えている現状に、自分で老人ホームを作る決心をされたのだ。

このほどその施設が完成したので見学に行ったのです。『特別養護老人ホームつるとかめ(つるかめ)』は、ぬくもりのある介護を行なう老人福祉施設というのが理念である。「娘の作った特別養護老人ホーム」というキャッチフレーズに、体験と希望と、意気込みが込められている。

社会福祉法人 中都・保育園うさぎとかめ・特別養護老人ホームつるとかめ

0才から100才までの福祉施設完成



施設を案内してくださる岡八代美さん。

弓削町
定例議会
は 6/24日(木)
9:00~です

弓削町にもほしい老人ホーム
子供が島を離れて一人暮らしになっても
住み慣れた場所で過ごしたい。

極め付きは、
孫や曾孫にあたるような子供たちといつでも交流できる『共有中庭』。そこでは老人たちは趣味の土いじりもできる。それをただ見ていることも、もちろん出来る。地域の人も自由に入出入りできる保育園との共有ステーションも作った。
そして「うさかめ」を単立した若者が成長し、知識と技能を身に付け「つるかめ」に帰ってきた。

いかがでしょう。

簡単な紹介ながら、都会の真中にできた老人ホームとしては出色の施設といつてよいでしょう。その考え方においてまさに、母を預けたかった施設。
遠く故郷を離れ、識人のない都会で老後を終へざるをえなかった母。そんな母を精神衛生上から見ても、安心して預けられる施設を、娘が作るうとしていたのです。

弓削町にも高齢者用の施設があり、今後も増えるかも知れませんが、そうした中で問われるのは、要は自分が入りたい(肉親を預けたい)状態かどうかにかんするでしょう。

理想があり夢があれば、

そしてその実現を強く願う心があれば、厳しい波も乗り越えられるに違いありません。ヒト・モノ・カネ・は、何も町おこしの為のみある金看板ではありません。ましてや誰かがこっそり用意してくれるものでもありません。羨望ではなくパワーを頂いた訪問でした。

娘の作った老人ホーム

施設の概要 二階建て

一階レベルには保育園もあり、在宅サービスセンターとは中庭と渡り廊下とでつながっている。

二・三階は老人ホーム

老人ホーム50床は、ほぼ個室。(規則で二人部屋も用意してはいるが基本は個室)

個室は寂しいという考え方もある。しかし個室を家と考えれば公私のけじめを意識でき、身なりにも気を配り、他人との交流を求める積極性も保持され得る。老人ホームとは言え社会生活のあるコミュニティと考えるほうが本来、理にかなっているのだと筆者は思う。

在宅サービスセンターは、

短期入所個室3床。日帰り介護一日15名に対処する。

併設されている『保育園うさぎとかめ(こちらのほうがしにせ)』には、0才から就学前60名の児童をあずかっている。ホームの高齢者を含めると、0才から100才までの福祉施設になる。

さて、娘の作った特別養護老人ホームとは、どんなものだろう。

岡さんは語る。

「身内なら誰でも気付く生活の援助を大事にしながら専門的知識や技能を合わせて利用者が心地よく生活しやすいように配慮したい。一人一人の好みや状態に応じ飾り付けや私物の持ち込みも可能にしていく。部屋を家がわりに思ってもらいたいと願っている。

同じ型の居室が並んではないが、家族や知人、友人が訪問できる部屋です」と

在宅サービスセンターの主な内容は、

- ①日帰り介護.....
基本利用時間：午前10時から午後3時半。相談に応じて午前9時から午後5時まで。
利用料一日昼食代400円
材料費月500円
- ②入浴サービス.....
利用料 無料。送迎。一日4名位。
- ③配食サービス.....
昼食・週2回。一日20食
費用：一食400円
- ④短期入所.....
最高6泊7日。費用：食事代一日1400円。
- ⑤介護相談.....
費用 無料。「つるかめ」利用者が対象。
- ⑥介護者教室.....
毎月1回。費用 無料。

今月の各地の広報は「しまなみ海道」オンパレード。そこで編集者のひとりごと特集です。

瀬戸田 ゴールデンウィークは大渋滞だった多々羅橋。瀬戸田町への観光客は予想したほど伸びなかったようだが人との交流を大切に。

因島 取材先や知人から「休日なのに大変だね」とよくいわれます。つらいと思えることもありますが感動や発見があり得ることも多い。

双眼鏡 しまなみ海道を話しの種に走破した。向島く今治。大島ではバラ公園と亀老山展望台も。なんと申しませうか。まあ発見はあります。

伯方 しまなみ海道、けっこう出費もかさみます。そんな私は、スクーターで片道40分の今治市へ。やはり次は自転車来ようかな。

今治 昭和30年5月紫雲丸遭難事故。海の悲しい出来事を繰り返さないという延長上に本四連絡橋ありとすれば「悲願の橋、夢の橋」

岩城 多々羅大橋、続々2つの橋を渡り大島・宮窪町へ。通行料一七五〇円を同乗車5人で割ると一人三五〇円。得したような気分だ。

虹と落日

本町木浦の作家・原田八東さん原作の演劇「虹と落日」の公演が次のとおり決定しました。
○とき 7月31日(土)午後6時～、8月1日(日)午後1時30分～の2回公演
○ところ 伯方町民会館



○入場 大人3,000円(2,500円)、中学生以下2,000円(1,500円)
※カック内は前売り
○申し込み 公民館 ☎72-1500

- ▼とき/6月22日(火)18時30分
- ▼ところ/因島市民会館
- ▼講師/新谷のり子さん
- ▼テーマ/「私の出逢った唄」
- ▼入場料/無料
- ▼問合せ先/同和対策課 ☎4-2160



人権講演会
新谷のり子
「ふれ愛コンサート」

- ▼とき/7月11日(日)13時30分/15時30分
- ▼ところ/因島フラワースタジオ
- ▼講師/沖田靖さん(フラワーセンター技術師)夏の花を使ったガーデニング講習会と実習
- ▼費用/2,460円(材料代と入園料)※実習終了後、使用した鉢などを持って帰れます。
- ▼持ちこるもの/筆記用具、軍手など
- ▼申込期限/6月30日(水)
- ▼申込・問合せ先/フラワースタジオ ☎5-1187

@ あつとパソコン五十の手習い

三月に次男がパソコンを買ってくれた。テレビも見ない生活なので世に遅れることはないなほだしいと言われる中、手元に届いたのは最新の緑色のスケルトンコンピュター・アイマックとやらだった。「買ってから三十分でインターネットにつながる」というのが売りなんだそうだが、なかなか電脳の思惑どおりにはいかない。業界用語の氾濫に痛癢おきることの上ない。一ト月ほどずっともんだの苦労をした。嫁には「若い頃ののくらしい勉強に励んでいればもっと違った人生もあったろうに」と(やかましい!)嫌みを言われ、息子には「ようがんばった」と褒められ、やっとEメールとインターネットに繋がるようになった。ワープロと合わせ、たったの三品。手付かずの分野のほうが多いのである(編集子)

離島医雑感

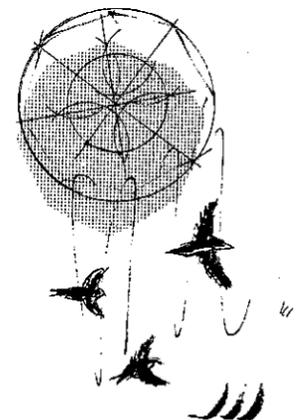
延岡市立島浦診療所長 菅井健二

《健康で勉強家で活動家の医者やーい》

文芸春秋4月号に対談で北杜夫が、もう安楽死させてくれよ、と洩しています。育児の百科の著者として知られた松田道雄は末期に日本人の自死を容認しています。88歳、もう死んでも好い状態と自認した文を残しています。

此の島に、98歳のばーちゃんがいます。2週に一度宅総診していますが、元気で三食に250cc缶ビールを楽しみ、夜に焼酎を追加するんだそうです。先生は何時来るんかいと私の訪問診療を楽しみにしていると聞いて嬉しくなります。100迄、生きるでしょう。本人も死にとう無いとはっきり言明しています。

克つての同僚から魚島診療所は暇ですよ、と便りが有りました。普通、冬場はふうふう風邪を引く患者が増えて、医者もふうふう多忙をかこるけど、それだけ儲かるので、働き甲斐も有る。それに引き換え、柿が赤く実る秋頃、医者は暇で青くなる。一銭も入らぬ日々も有る。なんて陰口が有るんですが、私の処は、矢張り冬は多忙です。前任地の柗島診療所の看護婦からの便りでは、医者が結核で6ヶ月間島外で静養中、診療所は代替医が来る週2日の午後以外暇です、とは驚きです。此の医者自身がペースメーカー植え込み患者で、島の植え込み患者からの電話で同病合憐れむの喩えのようにととても親切に診て貰えると聞き、内心結構な事と喜んだのも束の間。こんな事例から、私の後任はきちんと選びたいと思っているんです。3台のパソコン、500冊の新しい医学書などをすっかり残すのですから、健康で勉強家で活動家の医者であって欲しいですよ。



町なかから少し外れたところに古い公園がありました。公園には大きなえんじゅの樹があって、樹の下にベンチが二つ並んでいました。初夏のある日。ベンチに、中年の夫婦が寄り添って腰掛けていました。夫婦は悲しみの中にいたのです。そこへ、どこからか音もなく、灰色のスーツで身を包んだ男が現れ、もう一方のベンチに、ふしぎな八角形の小箱をおくと、樹の陰に身を隠しました。ほどなく、白いドレスの女が駆けて来て、崩れるようにベンチにすわりました。

すると男は、女の背後からこうささやいたのです。
「願いは箱の中に」
女は驚いて振り返りました。
「箱の、中に？」

女が震える手で小箱のふたをとると、そこには、淡い虹色に輝く、真珠のネックレスがありました。紛れもなく女の無くしたものでした。

女は、一瞬にして輝く笑顔を取り戻し、ネックレスを胸に走り去りました。

一部始終を見ていた夫婦は顔を見合わせました。
「あの子に会いたい。声が聞きたい。永遠に6才のままのあの子に。あの不思議な箱に私の願いを伝えて」
涙をうかべる妻を抱き寄せて夫は首を横にふりました。
「私たちのあの子は、永遠の眠りの中にいるんだよ。起こしてはいけませんよ」
二人が目を見上げると、小箱のあったはずのベンチの上には、えんじゅの葉の影が、さわやかな風に、ゆらゆらとゆれているばかりなのでした。

おわり

書き下し 童話

おはなごみち

おのみち

ミラクルボックス

霧野すみれ

弓削通信

発行者・平山和昭
〒794-2509愛媛県
越智郡弓削町土生
318-2 FAX&電話:
(0897-77-3072)

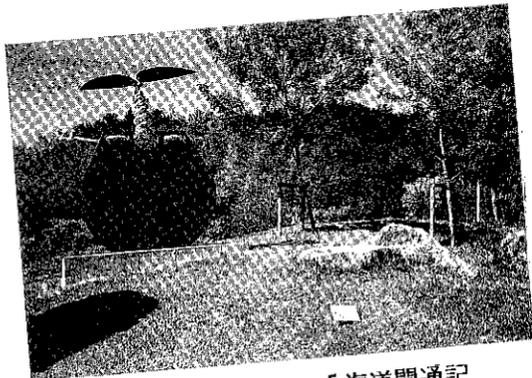
Eメール m_yugeru
@d2.dion.ne.jp

しまなみ美術館めぐり

尾道の新名所『尾道白樺美術館』を見学した。尾道市街を通過している国道2号線沿いで、尾道市立図書館の近くにあり、竹庭が目印だ。

景観保護のために市民が買い取った土地に、白樺派の梅原龍三郎のアトリエを復元し梅原の作品や、志賀直哉の書簡や原稿などがある。あまり見ることのない高村知恵子の作品がある。知恵子の豊かな才能が偲ばれる。何だか知恵子が発狂した理由がわかるような気がした。

向島の『県立洋ランセンタ』の中庭には、海道開通記念彫刻コンテストの入賞作品



向島洋ランセンター「海道開通記念彫刻コンテスト」の入賞作品

が展示してある。一見「そぐわない」印象があるが、周りの景観をうまく取り入れて展示しており、じっくり見ると実にいい。これは十月頃までの展示。

どこどこ走って、大島吉海町バラ公園。御目当ては傍らにある町立郷土文化センター内にある野間仁根画伯展。野間画伯は同町出身(明治34年〜昭和54年)

今をときめく生口島の平山郁夫美術館の作品群も素晴らしいが、野間画伯の作品は劣らず素晴らしい。大三島には大山祇神社の近くに大三島美術館があり、前

◎教育長答弁(要旨) 「住宅は築後20年。60年のもつ予定だ。将来生徒数の減少に伴い教師数も減る。資金の関係もあり、いまのところ改修は無理」

●平山

(1)通称しまなみ海道の開通に伴う因島ー弓削間の最終船便について
これは現行の因島ー弓削間の定期航路の最終便増設に向けてなんらかの手を打つ必要があるのでは?と質した

◎答弁(要旨) まず利用者が運行業者に要望するといったような働きかけが必要ではないか。しまなみ海道は開通したばかりであるし、行政として動くのは住民のニーズの実体をつかんでからということになる。

(2)弓削町の高齢者対策について
安心してこの町で一生過ごすには在宅介護の裾野をより強固にする必要がある。諸施設の弾力的運用をはじめ、議員研修中国旅行で聞いた、お年よりを隣近所で世話するといったような町民の意識改革も含めた抜本的な高齢者対策を構築する必要があるのでは?

◎答弁 けっして現在をベターとしていくわけではないが、まず町民が心身ともに健康であるために、ということでは施策をしている。

(3)議会決議にたいする理事者の認識について
昨年六月、「議員の公共事業請負対象外に関する決議について」という議案が決議されたが、このような議案決議を、理事者はどのよ

途ある若い作家の発表の場にもなっている。
海道が開通しても我々にはなにかと法外な運賃が余分に要る。それでも、カネですむことなら安いとすべきか。
さて、わが郷土出身の美術家は誰もいないのかしら? 要領よく誰かのノウハウをお手軽に利用するばかりでは郷土に本物の文化を見いだすことは難しいですねえ。

うに受けとめ、対処しようとしているのか

Ⅲ この議会決議の要旨は、地方自治法第九二条の二の立法精神に立ち、平成十一年度から、町は議員の配偶者または三親等内の血族及び姻族の経営する企業並びに、議員が事実上の支配力を持つと思われる企業に対し請負契約対象者としないうこと、いうもの。

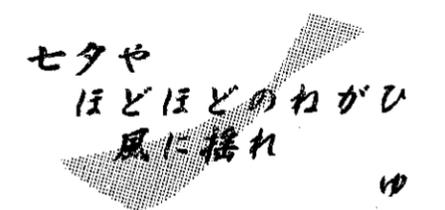
◎答弁 現在、違法な請負契約の締結はない。また、国の指導を仰いだところ、この議会決議に関しては、理事者はそれに拘束されないうこと返事である。

●本定例会には議員提出議案二件が予定されていたことは先に述べました。これは現職の一議員が、自治法に定める兼業禁止に抵触する虞がある事態にあると思われるので、自治法第一二七条の規定により当人の議員資格決定を議会に求める案件がひとつ。
もし議会が兼業禁止条項に該当すると決定した場合は、『町議会議員の公共事業請負契約対象外に関する決議』を無視したかどで町長不信任案を出す、でした。
結果的には資格決定審査要求案を上げて議会で審議する前に、もう一度全員で協議しようということで、見送り選挙後に持ち越しました。

議会の自浄力が問われる重要な案件ですので、ぜひ十分な論議が尽くされることを期待します。
なお私事ながら平山は、改選に際し、有権者の支持を十分に得られなかったため、今後、議会内に関することに当事者として関与出来なくなりましたことをお知らせしておきます。

平成十一年七月五日
(文責・町議 平山和昭)

6月定例議会 見聞記 28



『議会の自浄力』が問われています。

一般質問

一般質問は土居、平山、前田、竹林の順で4議員。

質問内容と答弁の詳細は紙面の関係で割愛します。関心ある方は当人に問い合わせることをお勧めします。

●土居

- (1)ゴミ集積容器の設置を町主導で行なっているかどうか
- (2)上弓削部落内河川の暗渠化について
- (3)県道未買収部分の拡幅の見

町郷土資料館の併設について

(2)教職員単身者用住宅に個人風呂整備について

【筆者・注】

竹林議員の(1)について

◎遺品寄贈者本居家との交渉が不調に終わったとの町長の説明があった。

(2)について

いまだき共同風呂の教員住宅ですませている自治体は博物館行きだろう。

「毎日が勉強です」

弓削通信ありがとうございます。五月がお休みだったので今月、楽しく読ませていただきます。

今、日本は介護保険のことで大変です。私も五月から訪問看護ステーションで働きはじめました。在宅で療養している人のなんと多いことか！

そして、二十年前仕事をしていた時に比べて、在宅で病院と同じレベルでいられることの管理の良さに、おどろいています。むしろ、へたな病院に入院しているより良いかもしれせん。

ターミナル・ケア(注)の質を問われる現在人はその人の価値観によっては自宅で幸せに最後を迎えることができると思います。

そして弓削のような島においても、入院設備にめぐまれないでも『優良な医者』にめぐまれたなら、ターミナルは何かかなるのではないのでしょうか？

私は二十年のブランクをうめるため、ただ今修業中ですが、二十年という月日の穴の大きさにボーゼンとしています。しかし、プロとして働いてお金をいただいている以上は皆と同じレベルで仕事をしなくてはと、毎日が勉強です。

広島県 Y/Y

(注)ターミナル・ケア：もとの意味は、末期癌の患者など、治癒の可能性のない患者を援助することを言う。
ターミナル・ケアの目指すところは、単に延命を図るだけではなく、苦痛を緩和し『人間らしい生』を全うすることを援助すること。

尾道演劇祭

尾道駅前「しまなみ交流館」(テアトロシャルネ)客席690
記念公演(500円)と地元劇団の演劇コンテスト(無料)が6月から行なわれています。これからのスケジュールは次のとおりです。
【問い合わせ先/チケット事務局・TEL/082-227-2522・FAX/082-222-5509】

記念公演



●公演日 7月17日(土)・18日(日)
●劇回名 18:00開演 14:00開演
スーパー・エキセントリック・シアター
水木英昭プロデュース
●公演タイトル 「SO SOLDIER ~ソールジャー~」
作:松田環 演出:水木英昭

演劇コンテスト



●公演日 7月20日(火・祝) 15:00開演
●劇回名 演劇グループ十八米四十糶 広島県
●公演タイトル 「Re」
作・演出:みつふじひろあき

記念公演



●公演日 7月24日(土)・25日(日)
●劇回名 18:00開演 14:00開演
ランニングシアターダッシュ
●公演タイトル 「新・ぼくの先生」
作・演出:大塚雅史

双眼鏡

▼失敗から学ぶことは成功から学ぶことより豊かな内容をもっている▼平らかな池の水面もそれなりに美しい。たまたまいは静謐であり、安心感もある。しかし、小石ひとつでたちまちに乱れる▼波紋の美しさの秘密は、いろいろの角度の光を映し込むからだ▼戦争はいけない。さりながら、人間の本质は「戦う」ことにある。自己との闘い、他人との闘い、因習、不正、エトセトラ・エトセトラ:▼それらの動機が何であれ、小さな個人のおこす波紋が、やがて世の変容につながることを信じる▼捲土重来、の語が好きだ▼鉄は熱いうちに打て、とか▼人生意気二感ズ功名復タ誰カ論ゼンヤ です。平山和昭

~光と風~

しまなみスケッチ展

尾道から今治を描く

出品作家

- 青木廣光 荒川 節 井川武彦 猪野政雄
上石田勲 織田恭一 神原 勉 木梨 修
島田 晃 瀬島勝興 高田三徳 寺坂公雄
藤原 融 前川里子 山本展三 横松 忠義
吉原 修 (五十音順)

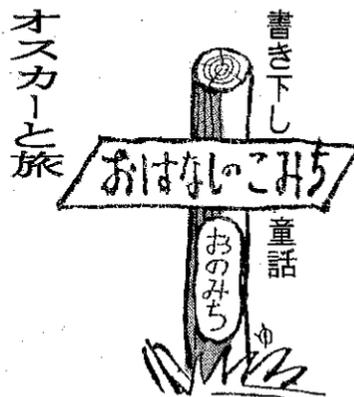
常設開催中
10:30AM-6:30PM(月曜休廊)

尾道駅前海岸通り おだ西邸
TEL0848-23-6006



大募集! 大豆オーナーになって手前味噌を作ろう!

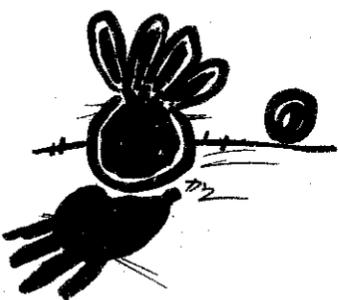
「遣伝子組み替え農作物」を使った食品を食べ続けるとどうなるか?結果はまだ出ていない。しかし日本政府はアメリカ農家に遠慮して、イギリスではほとんどのスーパーが遣伝子組み替え食品を排除しているのに比べ、依然野放しの環境農業研究会は「大豆オーナー田」を発足させた。
遣伝子組み替え食品を食べたくない人はオーナー料金三千円で田のオーナーになれば秋の収穫時に五キロの大豆と味噌づくりのイベントに参加できる。どこやらの農協はそんな運動何にもしないなあ。
【問い合わせ】0847-61-1001
御調町国守333 石井慶樹



オスカーの旅

尾之上 うき

書き下し 童話
うさぎのオスカーは外に出るのが好きではありませんでしたが、ワナにかかって歩けなくなった奥さんのかわりに旅に出ることにしました。旅行好きの奥さんがベットのうえで思い出話ばかりするのをかわいそうに思ったからです。
「彼女が訪れていない場所はまだまだたくさんある。僕が旅に出て、みやげ話をすれば、彼女はきくと喜んでくれるだろう」
しかし、オスカーが遠くへ出かければ出かけるだけ奥さんから笑顔は無くなっていききました。
「もっとすてきな旅でなければ、もっときれいなみやげでなければ・・・」



オスカーは奥さんが笑わなくなったのは自分の旅がつまらないせいだと思いました。オスカーが新しい旅で見つけたみやげは美しい夕焼けでした。夜が姿を現すまでのわずかな間、最後の力を振り絞るように太陽が空を朱に染めるのです

「この景色ならきつとーけど夕焼けを持っては帰れない。彼女をつれてくるしかない」オスカーと奥さん、二人が見た夕焼けは前よりもっと美しいものでした。夕焼け色を顔にうけた奥さんの笑顔をみたオスカーは、ずっとこの笑顔を覚えていたと思えました。

「これからも二人で旅をしよう」奥さんの手を握りオスカーが言いました。オスカーの言葉に奥さんは笑顔と手を握り返すことで答えました。

おわり

生名 生名村議会3月
定例会で村上雄一郎議員は町村合併問題に関し、生名村割り当て議員は5名と、試算し、村長の見解を質した。

伯方 「広報はかた」
が読みやすくなっている。なんとなくパソコン画面を思わせるが、随所に工夫があり、主義主張もある紙面構成。

瀬戸田 「広報せとだ」
の編集スタイル変わって久しいが、ますますいい。国際交流員ミシェル・ダミアンの記事が救い。乞発奮。



弓削通信

新しい時代の新しい弓削町を語り合ひましょう

1999・8

発行者/平山和昭
〒794-2509愛媛県越智郡
弓削町土生318-2
電話・FAX/0897-77-3072

『国旗・国歌法案』が通った

どこかで誰かが言っていたが、一昔前なら通るはずのない法案が、つぎつぎ通る。

憲法で禁止された海外派兵の道を開く「新ガイドライン法案」。どういうガイドライン(指針)かといえは、日本

君が代は

白地に赤き

金魚かな

国は米軍の出先基地としてあらゆる便宜を図るべしというもんだ。半世紀をかけてとうとう日本列島総基地化する。憲法で保障された国民のあらゆる自由も、世に言うところの有識者が、押しつけ憲法だ何だと不毛な議論をしている隙に、犯罪防止に名を借りた「通信傍受法案」、要するに警察による「盗聴許可法」で風前のともしびだ。悪名高い「治安維持法」もゾンビの如く息をふきかえすかもしれない。国民が恐怖政治の憂き目を見る日も近い。

平成十一年七月十九日、任期満了に伴う町議会議員改選後の初議会が開かれた。全議員(十四名)が着席し、正副議長、常任委員会委員特別委員会委員、監査委員等の選任が行なわれた。(詳細は広報ゆげ・八月号に掲載)

自治法の規定により、最年長者の、泉清昭議員が仮議長をつとめ、まず議長の選挙。泉氏九票、浦野氏五票。泉氏当選で以降は泉議長が進行した。

副議長選挙では、村上要氏九票、土居計彦氏五票で、村上要副議長が誕生した。監査委員には田窪忍議員が選任同意された。(新任)新議長は挨拶で「私なりに公正円滑な議会運営に努め、議会本来の機能を果たし、存在感のある議会をめざす」と語った。

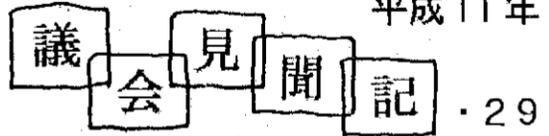
「私なりに」のみならず、誰の眼にも公正な、存在感のある議会に生まれ変わってほしいと、切に願うところだ。副議長挨拶は「一所懸命勉強するのでよろしく」というものであった。

世間一般では議員のモラルが常に槍玉に上がっている。「是非々々」という語の本義を一所懸命勉強して、もって弓削町議会議員の盛名をはせる事を期待する。

仲良きことは美しき...かな?

弓削町と業者との関係(その1)

平成11年7月臨時会



先月号でも取り上げたが、弓削町議会では重要な問題を抱えている。二「議員の兼業禁止」に抵触するかどうか、議会として、はっきりさせる必要に迫られている。

当日傍聴者はケーブルテレビ関係者以外には、平山ほか一名。淋しい限りだが、九月定例会には爆弾質問があったりして、沢山の傍聴者が押しかけるにちがいない。

「君が代」(歌)は天皇をたたえる歌だ。もし「日の丸」(旗)を敬わなかったり「君が代」を入学式などで歌わなかったら、そんな子どもを教育している教師を指導、つまり、引っぱたくぞと、文部省高官は平然と脅しをかけている。その一方で総理大臣は強制じゃないんですよ、なぐんて2枚めの舌でのたまう。まったくひどいものだ。天皇の歌なら、もうこのさ天皇に差し上げ、別にすて



月下美人咲く

7月17日夜、町内の愛好家の庭にて。月下美人はサボテン科の植物。この愛好家は、20センチくらいの苗から育てて5年。花には芳香があり、一夜きりの花。一株では結実しない。

きな新国歌を作ればいい。ちょっと考えてもみるがい。自分のかわいい子や孫がしたくもないことを強制され言うことを聞かない生意気なやっちゃと、公務員という名の教師に小突き回されている姿を...。脅されて従わざるを得ない屈辱感を、自分の身に引き寄せて想像することすら出来ないほど、われわれは鈍感な意気地無しになってしまったのだろうか。

「議員の兼業禁止」規定は、地方公共団体の(今の場合弓削町)議員は、個人として地方公共団体(町)の請負をしてはならず、また地方公共団体に對して、主として(営業金額の50%が目安)請負をする法人の役員、あるいはそれらに準ずる者(簡単に言えば支配力のある存在)になつてはならないと定めたもの。いわずとも議会運営の公正を保障するのがこの法の趣旨である。弓削町のような島の自治体とはいえ、継続して町から仕事を請け負っている企業の代表取締役の子が、現職議員でありつづけることの不明朗さは普通ならおかしいことだ。まして議員になるまでは、その企業の代表取締役であり、その時点では、現在の代表取締役が議員であったというよきな場合、現在の議員が当の企業の単なる従業員であるという主張を「公正」という見地からすんなり納得できるのだろうか?

判例によれば、企業における議員の地位の軽重の判断はその会社における実態に即して判断されるべき...とされている。おかしいと思えることにはどこかに必ず「無理」があるものだ。「議員の兼業禁止」規定に該当すれば議員の職を失うところとなり、その判断は議会が行なうこととなっている。(自治法百二十七条・失職及び資格決定)議会には自浄力を発揮するためにこれほどの権限が与えられているのである。議員諸賢は淡々と事実関係を調査し、質すべきは質し、改めるべきは速やかに改め、情動に身を委ねず、事の是非を明らかにすることが町民の心からの信頼を得る近道だ。疑惑を招く事態をいつまでも改めようとしてない町当局、「兼業禁止に関する決議(議員の3親等以内の者が経営する企業に仕事をすることを認めない)」をしているにも関わらず、それに該当する予算案を唯々諸々と通過させる議会、共に猛省すべきだ。こういふ、業者と行政の関係を、業界用語や行政用語でなんと呼ぶのかは知らないが正しい日本語では「癒着」と呼ぶ。(文責・平山和昭)

(第3種郵便物認可)



資料を手にする金田一春彦さん(前列左から2人目)＝神奈川県大和市南林間で

『日本童謡の祖』として知られる作曲家本居長世の三女本居若葉さん(68)が神奈川県大和市南林間の自宅から二十六日、長世の未発表の楽譜や当時のレコード、詩人の直筆原稿など千点以上の資料が見つかった。長世記念館の建設を自指す同語学舎金田一春彦さんを中心とした「本居長世プロジェクト」のメンバーが、資料を整理して分かった。金田一さんは「これだけの資料は音楽という枠に限らず、日本文化にとっての財産」と感激している。

未発表の楽譜など 三女宅に1000点

本居長世が作曲、竹久夢二が作詞し、表紙の絵をかいた楽譜



さんらは「長世の功績を後世に残そう」と、三重県松阪市の文化創造グループ・かやの木創房主宰、松浦良代さん(50)＝同市下村町＝を発起人に記念館の建設を目指している。

見つかったのは長世の直筆楽譜のほか、画家竹久夢二が表紙に鮮やかな色使いで和服姿の女性を描き、作詞もしている小唄「蘭燈」の楽譜。さらに、作曲した曲の作成年月日をまとめたリストカードなどが数多く残されていた。中には長世に作曲を頼んだ野口雨情や北原白秋などといった詩人の直筆の原稿もあった。見つかった資料は、記念館建設前にデータベース化する。プロジェクト発起人の松浦さんは「長世のすごさを再確認した。これで記念館建設へ向けみんなの機運が高まるのでは」と目を輝かせた。

日本童謡の祖 本居長世の 資料を発見

道鏡を守る会・秋の歴史探訪で来町

9月17日(金)～18日(土)

天皇の位を狙った悪僧とされる弓削道鏡の名譽を回復し、歴史的に正しい道鏡像を確立しようという『道鏡を守る会』のメンバーが来町する。一行二十名は弓削ロッジに泊り、地元会員との交流会や史跡探訪をする。

■交流会……17日夜、弓削ロッジ 興味ある方はご連絡ください。(☎77-3072)

弓削町に計画の「本居長世記念館」 突然の撤回！ 何があったのか？

本年三月二十八日、(本居長世の世界)ゆげ・そよ風コンサート(主催弓削女性塾)が唐突に開かれた。松坂市の文化創造グループ主宰の松浦良代女史が司会をし、本居家からの報告として弓削町に長世の遺品全てを寄贈する旨の報告があった。松浦女史は平成七年の『長世顕彰事業』以来、弓削町の文化グループ女性塾の活動にも密接に関わってきた。弓削町は遺品展示資料室建

設に意欲をもち、マスタープラン作成に百万円の予算措置、場所の内定など、可成り速やかに対応の姿勢を見せてきた。にもかかわらず、本年六月定例議会で町長は、相手側から約束破棄の申し入れがあったことを報告し「中に立った松浦女史が、長世記念館ではなく松浦記念館を作りたかったのではないか。ペテンにかげられたような気がする」と憤まんをぶちあげた。何があったのか？

やはり町長は、事の経緯を詳しく明らかにすべきだ。筆者に入った情報の一つに先方の関係者からのものがあり「町が松浦女史や彼女の紹介したデザイナーを排除しようとしたから断わりの手紙を出したのだ」という。そのデザイナー案には長世の旧宅を再現する、など、弓削と長世の関係深さの点や、財政面、投資効果からみて首をかしげたくなるものがあったのは事実だ。

ともあれ、町が主体性と熱意をもって企画したのでなく組み易しとみられ、持ち込まれた企画に簡単に乗りすぎたから手玉にとられた、といえなくもない。(転載記事は本年六月二十七日の名古屋中日新聞朝刊から)

双眼鏡

▼自然界にも本音と建前がある。いま暦の上では秋。とはいってもギラギラ夏真っ盛りだ。▼半世紀あまり前、地球上のいたるところで戦争があり、日ごろ私たちが耐え難いと思う状況より比較にならぬ苦しみを味わされたのはいつも本音を飲み込む民衆だった。▼民衆を苦しめた張本人は、建前を操る達人の政治家だった。今も昔も…。

新しい時代の 新しい弓削町を語る会

を発足しました。 これからの弓削町について語り合ひましょう。 今月の例会は、(土) とき：8月21日19時～ ところ：事務局(弓削町土生・弓削通信平山)にて



松原に、椋鳥の一家がすんでいました。両親と3羽のひなでした。 ある朝のことです。帰ってきたお父さんが言いました。「雨ノ森にいる妹のところへ行ったら、子供たちの具合がひどく悪いんだそうさ」 「それは大変。どうしたんでしょ？」 「わからん。あんなに清潔すきだから、まさか食べ物にあたったわけじゃないだろう」 「そうですよ。食物もいぢち洗ってまし。でも、近頃は人間が空から薬をまいて消毒してくれるので、ごはんを捕まえるのも簡単だし、洗う手間もいらなくなつて楽になつたと喜んでましたよ。後でお見舞いに行きましょう。」 さあさあ、うちも「はんですよ。みんな起きなさい！」



「そーら。きょうは雨ノ森に行つたついでにあの森からごちそうをいっぱいもつてきたぞ。あの森はおとといも空中散布消毒したから、ごちそうもきれいなもんだ」 お父さんはテーブルにおみやげを置きました。ミミズが2匹と青虫が3びきでした。「わーい」子供たちはさっそく青虫にかぶりつきました。「おいしいね、母さん。いつものようにじたばたしないから食べやすいやー」 「ほんと。このミミズもおとなしいわ」 「こども一週間先に消毒に来るそうだよ。カラス会議でそんな連絡があったらしい」 「それはよかつたことーやっ」とこどもも文化生活ができるようになるのね」 お母さんは最後のミミズの一切れをのみこむと、ナプキンで口をぬぐいながらうれしそうに言いました。

弓削通信

新しい時代の新しい弓削町を語り合ひましょ

1999・10

発行者/平山和昭
〒794-2509愛媛県越智郡
弓削町土生318-2
電話・FAX/0897-77-3072

9月定例議会
見聞記 30

九月二七日に開催された定例会は、実質的に先の任期満了による議員改選後初の議会と言ってもよく、各議員の支持者で傍聴席は満席……とは、なりませんでした。ケーブルテレビ関係者二名を含め計七名の傍聴者。
また九月定例会は前年度の決算認定。とどこおりなく、平成十年度弓削町会計の決算が認定されました。

改選後 初議会 いくつかの不思議

本定例会を終了して、話題とすべきものは次のようなこととでしょうか。

- ①町長が来年初旬にある町長選挙に出馬表明をした。
- ②町長が町営診療所や老人ホーム建設に言及し、診療所はどのような方策が可能か検討する。
- ③議員の兼業禁止に関する懸案については、引き続き議員勉強会を行い結論をだす(議長談)
- ④議員の兼業禁止に関する懸案については、引き続き議員勉強会を行い結論をだす(議長談)
- ⑤行政と議会は車の両輪にたとえられるが、こと「自治法」に関しては片輪(かたりん)だと考えている、との「片輪論」が理事者により開陳された。
- ⑥全町公園構想の完成は五十年で出来上がるものではなく、我々の時代には完成しないかもしれない。その間における(現実との)矛盾は止むを得ない、とはこれも理事者の見解。

いよいよ実現します!
③議会のケーブルテレビによる実況中継は、局側の準備が出来たので、あとは議会次第との現状が示された。

秋の歴史探訪・弓削道鏡

9月17~18日「道鏡を守る会」「道鏡を知る会」「道鏡を語る会」のメンバー17名が来島した。宮城、栃木、大阪、茨城、京都、東京、埼玉という具合に各地から集まった一行は地元会員との交流、弓削島の道鏡に関する史蹟探訪、自性寺での開山忌法要等を精力的にこなし、しまなみ海道をも探訪すべく去っていった。

自性寺は法皇弓削道鏡の開基とされ、宝亀3年(772年)8月18日寂と記された道鏡の位牌がある。続日本紀に、道鏡は宝亀3年4月18日下野に歿すとあり自性寺の位牌とは4ヵ月の謎の日時がある。道鏡暗殺説もあるところから、6人の別当(大寺の僧官)とともにこの地に逃れてきたとは充分考えられる。

本町狩尾地区にある六別当という地名の由来だ。道鏡は天皇の地位を狙ったふとどきな悪僧のレッテルをはられている。しかし守る



会や知る会、語る会の、地道な研究の結果、全国にその徳を讃える伝説等があることから、藤原氏との政争に敗れた一人の有徳な高僧の姿が浮かんでくる。

正史(時の権力者監修による歴史書)に彼の事跡の記録が殆ど無いというところが不自然で、かえって怪しい。

(写真は狩尾の道鏡史蹟を見学するメンバー)

④⑤⑥に関しては、それぞれ不思議があります。若干の説明があるかも知れません。

④には、議員の三親等内の者が経営する企業が町の請負をすることを認めないとの弓削町議会決議があるにもかかわらず、そういう予算案が議会を通過している不思議。

⑤には、これは浦野議員が、過去、町と業者との業務委託契約に関して、自治法九二条の二(議員の兼業禁止規定)に触れる状況での契約続行は、おかしいのではないか(趣旨)と糾したのに対し、「議員の兼業禁止規定は議員の問題であり、理事者はそのことに口を挟めない。出来ないことをやれ」というのでは我々はいじめにあつていようなものだ」との助役の答弁中に出てきたもの。

とすると、弓削町は、議員が自治法に反していることを知りながらする契約を持ち込んできても、そのことを理由には断れないという不思議が発生する。

⑥には「弓削の自然環境を保全しながらそれに適合した暮らしの場をつくっていくこと」(同構想基礎調査報告書)を全町公園構想と呼ぶらしいが、今、日本中で流布している「公園」という言葉に、背負いきれない意味を(通常恣意的拡大解

釈ともいう)持たせることで、議員はじめ町民全体に分かりにくさを今だに押しつけている不思議。

今定例会での一般質問は二名でした。(以下は要旨)

土居議員

(a)理事者の政治姿勢について。これは公職に立候補する者は常に公約を掲げ、その実現に努力すべきだ。町長は診療所や老人ホームの建設に向けて、どうアプローチをしていくのか？

(b)町内至る所に放置家屋や放置畑があるが、全町公園構想との整合性は？

浦野議員

(a)議員の兼業禁止について。これは過去、有限会社ウエムラマネジメントが弓削町に提出した「請け負い契約変更願い」に関し、当時の現職議員が代表取締役についているにもかかわらず、その事実を看過したことに関して質したもの。

答弁は先の不思議⑤の如くで、全く要領を得ない。

さて、ところで車の両輪論なるものについて。

議会も理事者も法を守りながら、共に国民の幸福を守り追い求めていくために持ち場立場でベストを尽くすというのが本旨であつて、それがために法を逸脱しないように互いに忠告し合うことは何ら法の精神にもとるものではないと思えるのですが、読者の見解はいかがでしょう？

(文責・平山和昭)

人の基本を探る・その1

《戦争》

人は誰でも美食には憧れる。しかし「河豚は食いたし命は惜しい」で、やはり命や健康が最優先である。

生きるため健康のため地位も財産もなげうつ思いの人は多いのに、大事な人の命の奪合の戦争が跡を絶たない。自分の生存に何の邪魔にもならない人々を無差別に殺す戦争が人間世界にだけ何故多発するのだろうか。

人間は、生きるために必要なものを造る動物である。造つたものは敵も味方もなく人が生きる力を支える。生きていく人でなければ何も造れない。人が生きるためには生きて他人が絶対必要なのに、集団で殺しあう。

人間社会にはボタンひとつ掛け声ひとつで集団を動かす

人生雑感

権力者がいる。戦争は一時的な別世界で、評価の基準も常時とは全く別である。誰が良いとか悪いとかではない。一時的錯乱現象であるが、負ければ殺される危険に晒された現象でもある。

戦時国際法があるが、負ければ相手はそれを守る保障はない。民族や宗教によって考え方が違うので、国際法が物をいうのは戦争が終わってからのことである。現在方々で起こっている戦争、動乱等でも国際法無視が横行していて、一方的理屈では片付かないのである。

「世界平和と大学」の放映を見た。平和運動の指導者を目指す各国からの代表の集まりである。現在紛争中の国の人も一緒の合宿生活中、講義外の相互懇話的論争の一場合ではあるのに、実現手段、方法に対する考え方は大きく食い違っている。

インド、パキスタン、北朝鮮、中国、米、英、仏、ロシアの諸国、アラビア諸民族国等からなる人々の自由討論でも、武力使用否定論、容認論、必要論と岐れていて、そのいずれもが一通り筋は一貫している。法治主義国でありながら「悪法もまた法なり」「法無きは罪せず」「悪法は死法である」等、また法解釈に於いても条理、文理解釈、地域定着の慣習法等、一筋縄ではいかならないのだからと思いつながら見ていたのだが。

奉修採燈大護摩供

とき：平成11年11月21日(日)
午後1時より3時まで
ところ：上弓削中田組社宅跡地



祈りの火祭り 【世界平和祈願】

昨年は験乗宗弓削行者会主催の『祈りの火祭り』に多数ご参加くださいました。ありがとうございます。おかげさまで大成功のうちに弓削町初の『採燈大護摩供』『火渡り式』を修めることができました。本年も世界平和を祈念し、ご案内の要領で火祭りを開催いたします。どうかお誘いあわせのうえご参加ください。当日は町外からも行者多数が参集し『採燈大護摩供』『火渡り式』が身近に体験出来ます。イベント実行にあたっては、希望者から1本300円の添護摩志納料(そごまのりよう)を申し受け、この大切な浄財を全て町内商店にて使わせていただきます。町おこしの一助になれば幸いです。

- 主催：験乗宗弓削行者会 事務局 ☎0897(77)3815
- 協賛：弓削町観光協会/弓削町商工会/験乗宗総本山光明寺

伯方 伯方中学PTAの施設部は生活環境部として生まれ変わり、学校、生徒らとゴミの減量化やリサイクル活動など環境問題に取り組んでいく。商店では包装の簡素化を進める。

因島 広島県廃家電品適性処理協力協議会からフロンガス回収機が一台寄付され、リサイクルセンターに設置。冷蔵庫、エアコンなどのフロンガスを回収し、オゾン層破壊防止に活用したい。

瀬戸田 町民会館図書室で10月30日(土) 9:00~16:00 「本のリサイクル」。当日はどなたでも、ご自由に本を持ち帰ることが出来ます ☎7-3848

絵本の読み聞かせとミニコンサート

●演奏 だろんこハリー ポロメーオ・ストリング・クアルテット

参加者募集/入場無料

11月2日(火) 午前11時

ところ 町民会館図書室

お申し込みは、お電話(☎7-3848)で町民会館まで。

締切日 10月17日(日)

音楽絵本

双眼鏡

▼いよいよ介護保険制度が動きはじめる▼よその事例は新聞等でも解説されているが、わが弓削町での実態はどうなるのだろうか? ▼少なくとも医師の多寡は、受けられるサービスの種類を左右する筈だ▼医療施設の充実をないがしろにしてきた町政のツケが、サピスは今のままで保険料のみ負担がふえるだけじゃないかという実態が予想される。

書き下し 童話

おはなごみち

おのみち

きつねのボタンや

林原玉枝

森のきつねが、今年もお店を開きました。

「ボタンや」です。

毎年、森の木ノ実がおいしいころになると、きつねはきまつて、森のはずれのしいの木の下で「ボタンや」の商売をはじめます。

きつねは、鼻歌をうたいながら、森のあちこちから集めてきた、草の葉のボタンを店先にずらりとならべます。

「♪いつのこづちは、いつがいが、おつなもみは、とつげとげ。かつこいいぼたんさ。おれは、ぼたんや、かつこいいぼたんやさささ。」

「ぼたんください」

まつさきにやつてきたのはリスのこ。

胸にいのこづちのボタンつけてもらいました。



去年と同じ、おなもみのボタン、つけにきたのは、野うさぎのむすめ。

胸にも、背中にも、しつぽにも。まあるいすてきなボタン、いつばいつきました。

それから、のねずみは、おにるりそうのボタン。あたまにいくつもね。

森のみんなは、むねやしつぽやあたまや、背中に、きつねのボタンやでボタンをつけてもらって、しあわせな気分になります。

「なんで幸せな気分になるのかって? しらないの?」

ボタンにはもともとそういう力があるのさ。

きつねは、はなうた歌います。

「♪いつのこづちは、いつがいがあ... かつこいいボタンだよ。... かつこいいおれだよ。」

きつねは、ボタンや、やつてる時、自分が大好きです。

弓削通信

新しい時代の新しい弓削町を語り合ひましょう

1999・11

発行者/平山和昭
〒794-2509愛媛県越智郡
弓削町土生318-2
電話・FAX/0897-77-3072

前号の「議会見聞記30」に抗議文が寄せられました。

八年前の弓削通信発刊時、次のように書きました。

月刊『弓削通信』をお届けします。若者やおとしより、老いを目の前にした私達や、島外にすまう友人たちが語り合うための投稿紙としました。

以来、投稿は紹介してききましたが、記事に関しての賛否の論は少なく、淋しいかぎりでした。

弓削通信の役目も終わろうというこの時期、抗議という形であれ、読者の積極的なアプローチがあったことは、喜びとすべきでしょう。

釈明に対する返書も寄せられました。それへの返書ともども、又の機会に続編ということでも掲載したいと考えています。(編集子敬白)

抗議文

弓削通信文責者 平山和昭殿

1999年10月15日発行の弓削通信において、「議員が自治法に反している」と明記されておりますが、私が法を犯しているという根拠及び証拠を提出して下さい。

明記する以上資料は整っていると考えられますので、提出期限は1999年10月31日までと致します。

提出が不可能の場合、弓削通信による謝罪文の掲載及び文責者の直接謝罪を要求します。

1999年10月21日

弓削町議会議員 上村俊

1999年10月25日

平山和昭
弓削町土生318-2 弓削通信
FAX 0897-77-3072

上村俊之様
弓削町議会議員

1999年10月21日付け 『弓削通信』文責者あての抗議文に対する釈明

秋冷の侯、貴職におかれましては弓削町議会議員として特段のご活躍、慶賀にたえません。また日頃より小生発行の『弓削通信』をご高覧くださいます感謝いたします。

さて、先日10月21日、1999年10月15日発行の『弓削通信』の記事内容に関し、抗議ならびに執筆者の謝罪を要求する抗議文を受け取りました。

抗議文によりますと、弓削通信において「議員が自治法に反している」と明記しているが、私(抗議者)が法を犯しているという根拠と証拠を同年10月31日までに提出し、期限までに提出が不可能な場合は、弓削通信における謝罪文の掲載及び文責者の直接謝罪を要求する、というものでした。

結論から先に申しますと、あなたの要求に応じることはできません。その理由として
①当該記事において、あなたが法を犯しているなどは書いていません。
②当該語句の置かれている文章の流れからみても、あなたが法を犯しているという様なことを主張する主旨ではないことは明らかです。

抗議文は、一連の記述のなかの特定の語句を予断と偏見を持って取り出し解釈した、言い掛り以外のなにもものでもなく、文責者である私が、あなたに対し期限までに証拠等の提出や謝罪文の掲載、直接謝罪をしなければならない理由がありません。

蛇足ながら申し上げますと、議員が自治法に反している云々の語句は、1999年9月定例会で議員の兼業禁止についての浦野議員の質問に助役が答弁したなかで、遵法というものの考え方として、理事者も議会(議員)もお互いの領分には踏み込めないとの主旨発言をしました。議員の質問に正面から明確な回答をすることを避け建前論をふりかざしたことに、私は当日の傍聴者として強い不信感を覚えました。その思いを記事の中で「いくつかの不思議」として、助役のような考えなら理事者は議員が自治法に反していることを知りながら持ち込む契約も、そのことを理由には拒めないではないか、と書いているのです。議会出席者としてあなたも助役の答弁をお聞きになっています。

私が議員在職中に採択された弓削町議会議員の兼業禁止に関する議会決議は、あなたも含め、全員一致で成立したものです。それがどのように運用されるかは、一町民として強い関心を以て見つめてはいます。が、だからといって私が議員が法を犯しているかどうかを決め付ける立場にないことはだれが考えても明らかどころです。それができるのはご承知のように司法の場です。

付記・このような抗議文が寄せられたところをみると記事に関して同様の誤解をした読者も複数おられるかと懸念します。私の文章の拙さの結果であり、あなたにとっては迷惑だったかもしれません。したがって来月の「弓削通信」に抗議文全文と、この釈明文を掲載し、読者の誤解を解く一助にしたいと思います。ご了承ください。

診療所開設【請願書】
議会事務局へ提出

町営診療所開設に関する請願書は十一月一日、議会事務局に提出されました。趣旨に賛同し署名していた

だいた町民は一三六六名。議会への紹介は竹林秀夫議員にお願ひしました。たとえ困難なテーマであろうとも、目標としてきたため、実現に向けてその第一歩をふみださない限り、何事の実現もありえません。

訪問看護婦

訪問看護婦 走り回っています!

弓削通信いつもありがとうございます。来年四月からの介護保険制度開始にむけて福祉や医療、介護関係者は毎日走り回っています。

私達訪問看護婦も他人事ではなく、月に何度となく研修や勉強会に参加させられています。

私達は二号被保険者でもあり、保険についてもっと知っておくべきなのですが、何しろややこしくて年配の方が理解出来る内容ではない様に思

います。市町村によっても受けられるサービスの内容の不公平もあると思います。弓削のような所は特にヘルパーサービスのみのみか、あとは町のデイサービス利用くらいでしょうか? どうせお金を出すなら、(一割負担ですから)満足のかどうかはサービスを受けたいし、又とうぜんの権利でもあると思います。残念ながら弓削の人たちは欲がなさすぎます。訪問看護やボランティア、二四時間巡回ヘルプサービス、

ショートステイ、ヘルパーサービス他色々利用すれば、在宅で寝たきりを介護する負担はずいぶん楽になります。もっと欲をだしてサービスを受けたいと町に訴えるべきだと思います。

私も勉強不足で金銭的にどれくらいかかわりませんが、受けるサービスは少くも保険料が都会と同じでは阿呆らしいかぎりです。よろしくね。

そろそろ風邪がはやってる様です。ご自愛下さい。

広島県 Y・Y

枝豆が美味しい! ビールが美味しい! 無農薬大豆収穫祭 盛大に開催

無農薬大豆のオーナーの参加を得て、十月三日(日)、御調町留守地区の石井さんの田んぼで収穫祭を開催した。

当日は暑からず寒からずの農作業日和で、愛媛県弓削町や三原、尾道から六世帯・九人のオーナー・役員と石井さんを含む環境農業研究会のメンバー五人で、無事収穫を迎えた大豆の収穫に汗を流した。

ところで、収穫を迎えるまでには様々な試練があった。

八月には豪雨によって大豆は倒伏してしまつた。石井さんは倒伏した大豆を手製の竹の支柱で一本一本手作業で起した。しかし、大きく繁つた大豆を起すという作業は大変な何作業で、全ての株を立て直すことは断念せざるを得なかった。しかし、せつかく起した大豆も九月下旬の台風で再び倒れてしまった。

ただ、心配していたカメ虫の被害はさほどでもなく、お約束の一人五*の大豆はなんとか確保できそうだと収穫作業は九時半から始め、まずは根こそぎ大豆の株を抜き取り、そのあと数株ずつ稲ワラで束ね、ハゼ(大豆を乾燥させるために、竹を物干し状態に支柱で支え、束ねた稲や大豆を二つに割りにかけた状態のものをハゼ、もしくはハデといふ)にするところまで行った。

十一時すぎには作業を終了し、石井さんの自宅の直ぐ近くに建つ息子

年明けに手前味噌づくり



大豆収穫後の昼食会。中央が石井慶樹さん。

夫婦の住まいであるログハウスのウッドデッキで予定通りの時間で昼食をとることができた。

朝食のメニューは、ビール、つまみはこの日収穫した田んぼの大豆を使った枝豆と石井さんが自家消費用に栽培している丹波黒大豆の枝豆、さらに、自家製の鶏の卵や大根の入ったおでん、これまた自家製の味噌汁にツキウ・キュウリの漬物、そして手前味噌の味噌汁に無農薬の新鮮コシヒカリという具合で、美味しいのはもちろんのこと、自給率の高い大変贅沢な昼食となった。

なにもかもが美味しく、収穫作業のほどよい疲れもあって、食もビールもすんだ。

オーナーからは「こんな楽しいオーナーなら、今年限りではなく是非来年も続けて欲しい」との声もあり、来年の取り組みにも弾みがあった。

今回の行事は年明けの味噌づくり。お楽しみに。

「ふるさと愛媛の物産と観光展」が大坂近鉄アベノ百貨店で九月中旬開催された。当初より参加している岩城村は人気ナンバーワンだった。

伯方町伊方の船大工・渡辺忠一さんを題材にしたミュージカル「ドリムシップ」が公開される。井上佳子・作本人曰く「照れるわい」。

因島高校三年生の高本浩之君、原山淳君、中井智也君が、全国高等学校ロボット競技大会「ロボットどじょうすくい大会」に出場した。



劇団チャイルドシート旗揚げ公演

鳥はどこへ行く

作・チャイルドシート

60年代のリズムにのせ鳥たちの言葉で教育、子育てに言いたいほうだい!!

福山にはなかったスタイルの芝居をお楽しみ下さい。

99.12月12日(日) 午後2時中央公民館大ホール・入場料1000円
TEL (0849) 66-1358 ・代表 谷池輝彦

劇団員募集!!!!!!



あれからずいぶん年月がたちました。タヌキの親も年をとって、子供だったタヌキが、その子供を連れてきて、寒い冬をすごしていききました。

つねきちじいさんは、タヌキの家族がくると、はりきりました。いつもはおつくうな夕食の準備も楽しみます。

大きななべと、小さめのなべに、たつぷりおかずを入れると、そつとゆずの木の下面におきました。

タヌキの家族は夜になるとぐふんぐふんと、食べました。今年も、その時期がやってきました。

「はやく、こいよ」

つねきちじいさんは、ゆずの木を見上げました。

ゆずの実が、ちよつぷり冷たい風に、ゆれました。

おわり。

ゆずの木の下で

きたで かよこ



小さな平屋の家でした。まわりは、しいの木に囲まれて、段々畑がありました。

町から遠くはないのに、しいの葉のすりあう音しか聞こえませんが、

つねきちじいさんは、この家に、長いこと、ひとり住んでいました。

「そろそろ、やってくるころじゃの」

庭から、続きの段々畑に、目をやりました。

そこにはみごとなゆずの木が立っていました。

まだ、つねきちじいさんが若かった頃、ゆずの実が色づくくとタヌキの親子が訪ねてくるようになりました。

岩城

「ふるさと愛媛の物産と観光展」が大坂近鉄アベノ百

伯方

伯方町伊方の船大工・渡辺忠一さんを題材にしたミュージカル「ドリムシップ」

因島

因島高校三年生の高本浩之君、原山淳君、中井智也君が、全国高等学校ロボット競技大会「ロボットどじょうすくい大会」に出場した。

瀬戸田

「第四回かがやき交流」として十月三日、タイから六人の小学生と二人の引率の先生が来島し、二週間留学生生活を、国際交流をはたした。

弓削通信

1999・12

発行者/平山和昭
〒794-2509愛媛県越智郡
弓削町土生318-2
電話・FAX/0897-77-3072

新しい時代の新しい弓削町を語り合ひましょう

新しい時代の活力ある弓削町像 西暦2000年



弓削通信発行の平山和昭(左)と語る前田典也さん

激動の二十世紀も後わずかになりました。長引く不況下にあつて、善きにつけ悪しきにつけ世の中色々な結果が現われてきました。弓削町も例外ではありません。

今日は、新しい時代を迎えるにあたり『新しい時代』という言葉だけに終わらせないために、新しい弓削町像を語り合つてみたいと思います。

新しい形の農業にも
魅力がありますよ。

平山 まず『新しい時代の新しい弓削町を語る会』の會長さんから問題提起を願います。

前田 「ずばり言いますと新しい弓削町とはなにか、に尽きます」

平山 「本当の意味で、活性化している町、です。今、町内の人心は沈んでいます。

不況のせいばかりではありません。来年の町長選に現職が七期目の出馬を表明しました。四半世紀ですよ。ひとりの人間がトップの座に。業者と行政の癒着としか見えない

状況も出てきた。なんか、やりきれないムードが町内に蔓延しています」

前田 「どうします…?」

平山 「町民の意志と力でこの状況を打ち破るしかないでしょ。」

いままでは企業誘致とかが活性化策の代名詞で、住民も行政にリードされることに慣れ、人が集まらないと活性化はないと言われれば、そうかなあ、と。

ですが、私達が住んでいる地域は、企業誘致や地場産業の新興に関しては、いわゆるコストを下げようとしても決定的に不利な条件をかかえています」

前田 「活性化策はないと

活性化を進める自由な語り合い
意見やアイデア、不安や愚痴も

いうことですか？」

平山 「いいえ。ただ、人が集まるには産業が無ければ駄目だとか、いろいろな施設を多く持つことが地域発展の必須条件だと思ひ込みすぎてはないか、ということですよ」

前田 「とうとうと…」

平山 「弓削町も六千五百人をこえる人口が安定的にいた時期がありました。高度成長時代です。たしかに因島に日立造船があり、働く場もあつた。

柑橘類を中心とした農業もそれなりに成り立っていた。ところが町民は何をしていいかという、実はせつせと子供を育てていたんですよ。高度経済成長を支える働き手たちを…」

前田 「そりやまあ、そうですね…」

平山 「あなたも私もいずれ島を出るつもりでした。卒業すると殆ど都会に生活の場を求めて出ていった。要するに、若干の地場産業があつたといえ大局的には自家消費型経済の枠組で、国の施策に依るべく人材を育ててきたのですよ。船員とか工員とか…」

働く世代から アイデアつぎつぎ

前田 「今も昔も本質的には同じだど？」

平山 「そう。企業城下町なんて会社のご都合で一寸先は闇。それが現実になった。凭り掛かるものがなくなつた今こそ田舎であることの意義を見いだすときです。地域の教育力を高め、有能な人材を世に送り出す。しっかり世のお役にたつてもらつて、余生はふるさとでお過ごし願う…」

前田 「そのためには子供を産む世代も必要ですし、彼らが働く場も必要ですよ」

平山 「もちろんです。かつてより減りましたが、子供は生まれ続けています。そのうえで四千余人の人々が生計を保っています。

新たな働く場の確保は大きな課題です。いつそうの努力を続けるしかない。そんな中で保育所とか幼稚

園も、親がフルタイムで働けるような態勢に組み替え、料金算定基準も見直し、出来るだけ安くするとか、農業とかについても、これは人の意見の受け売りですが、農協が遊休農園を一手に管理し、農家の人はサラリーマンとしてその農園で働くとか。

多かれ少なかれ、皆いろんなアイデアを温めている。それを出しあう。出しあえるような雰囲気かね、必要なんですよ」

弓削商船高専の 大学昇格への夢

前田 「その外には？」

平山 「幸い国立の商船高専がある。ここの火を消しちやいけない。これは弓削町だけの問題じゃないです。

生名も因島も上島諸島ござつて、弓削商船高専の大学への昇格、というようなことに意欲を持つ必要がある。国立校と本町は運命共同体ですよ。

でも国立学校の民営化が噂されるところをみると、文部省が地域の実態にどれだけ配慮するか疑問です。なるべく早く意見書を出すべきだ。僻地家庭の教育費の重さは大変なものです。通学圏に大学があるなら相当魅力的な活性化策では？」

昔ながらの 全町ヘルパー構想

前田 「そうですね」

平山 「一旦は町外に移動した弓削出身者に、帰つてきて住みたいと思わせるものはないかねえ」

前田 「安心感…かな。世間で、とうより都会で一仕事終えた人が、ふるさとに帰り、安住の地で人の役に立ちながら、いよいよ自分の番になつても安心して身を任せていられるような地域、ということでしょう」

平山 「そうなんです。少なくともリタイアしたひとが、いまさら田舎で金儲けを夢見ている筈がない。カネを使い果しても惜しくないような田舎なら、帰つてくる。

弓削に老いた親を置いておけないで都会に引き取つていくのを見聞きするとほんとに胸が痛みます」(裏面へつづく)

(表面よりつづき)

前田 「誰だってできれば自分の家で生涯を終えたいと思うでしょう…」

平山 「介護保険の本来の目的もそこにある筈なのに、残念ながら国の政治家たちはこれを他人事のように考え、駆引きの具にしている。腹立たしいです」

前田 「いつか弓削通信にのつていた中国での介護の有様は参考になりますか」

平山 「介護というより、互助と自助のありかたです。隣近所が順番に面倒見合うというの、日本ではすでに喪われた美德です。でも、金のない自治体ではぜひそれを有効させ、地域社会の活性化をはからねばなりません。活性化なんて、要するに人の心の問題なんです。全町民がヘルパー、というのはどうですか？」

前田 「全町ヘルパー構想ですね。(笑い)」

住民の考え方が変わらねばなりませんね」

平山 「体勢にもたれかかっちゃ駄目なんです。多くの人はそのことの大切さに思い至っています」

診療所と医者を増やし 介護予防対策にも力を

るね。親も教育委員会も大らかでなくちゃ

平山 「安心感を支える一方の柱は医療です。島部消防の救急艇による救急システムは島にとつて実に有用で、現職町長がこれを実現した功績は大です。しかし町民が抱きたい医療に関する安心感は、そんなことばかりじゃない。千三百人あまりの人が、町営診療所開設の請願書に署名したのは、日常、例えば、元、魚島診療所長・菅井先生の持論である医療の出前とか夜間に相談のつてもらえるとか。掛り付けでなくとも気軽に遠慮なく活用できる医療が今の弓削には無いと感じているからではないですか？ 介護される人ばかりでなく自立と判定された人たちを支援するためにもお医者さんは必要です。今の弓削町の現状でそれがのぞめますか？」

前田 「高齢者の問題ばかりではなく、若者とか子供に

関してはどうでしょう」

平山 「安心感が持てる町なら希望が持てる町になれるということになりませう」

前田 「若者に希望をという、どういふことになるのでしょうか？」

平山 「人づくりの観点からすれば、もっと教育に金を注ぐべきです。奨学金だつてたつぷり用意すべきですし、小中学校の修学旅行は、もう海外が常識ですよ。さつき話した保育所とかの問題も含まれます。子どもたちには自分で何か判断しなきゃいけないときにできるだけ広くいろんなことを知っていてほしいと思う。識る、ということとは体験なんです。週休二日制になつて子どもたちに体験が増えるようになるんでしょうか？ 自然の保全は当然です。インターネット時代に突入して、世の中、教育現場ではパソコンがどんどん活用されています。教師が扱えなくとも堪能な若者がいれば学校に入つてきてもらうなど、垣根をとつばらう校長のバイタリテイが望まれます。にいちちゃんがかつこよくな

るね。親も教育委員会も大らかでなくちゃ

前田 「高齢者もどんどん楽しめるように、誰でも入つていける学びの場を設けたらいいですねえ」

平山 「若者も、有料、無料の、お手軽パソコン教室を開いたりして、みんなが交流すれば楽しい」

前田 「子供を大切に思うとは、自分の子供だけはいい学校に入れて、いい会社に就職できれば幸福、と言うようなしみつたれたことじゃないんですよねえ」

平山 「こんなこというとすぐ、金をどうするんだ、とくる。無駄遣いが一銭もないかどうか本気でチェックしろつて言いたい」

診療所との連携で さつきと実現

前田 「老人ホームについてはどうですか」

平山 「議会ですることについて質問したところ、現職の前の益浜町長るとき、久司浦にと提案したが地域の反対

で実現しなかったという。無理もないです。そのころ世間では、老人ホームとは、まさに姥ステ山のくらくらいイメージでした。時代の風潮を打ち破る事は困難だつたでしょうよ」

前田 「老人ホームのイメージが変わつたのは最近のことですね。例えば渋谷区の岡さんの施設のようなのが当たり前になる日も近いですか」

平山 「近い。行政も過去にこだわらず、みんなの意識が変われば、そこからまた出発すればいい。出来る出来ないという結論を言い出すまえに、住民が心から願っているコトの本質に耳を傾けるべきです」

住んで安心 自由に語りあえる 新しい時代の弓削町

住んで安心 自由に語りあえる 新しい時代の弓削町

前田 「住民側にも、本音を言わない、言えない雰囲気というか、世間がある」

平山 「それが解消出来てはじめて活性化がはじまる」

前田 「では、しめくりとして」

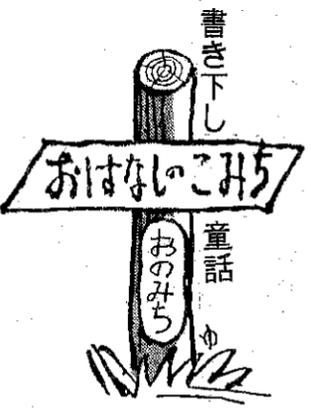
平山 「大人に志がなければ、子どもも道に迷います。最近、弓削町でも女性を中心とした「町づくり会議」なる活動も立ち上がってきました。結構なことですが、でも問題があります。いつものことですが、こういう組織を立ち上げるときに絶対メンバーの公募をしない。いつも決まつた顔触れ。新しい時代の弓削町をめざすならそういう姿勢では駄目ですね。フランクに公募すれば、意欲的な人の参加も期待できるのに。ほんとうに皆の意見が聞きたいのなら、もう一歩踏み込んでほしいですねえ」

前田 「よく公募しても応募がないなど聞きます…」

平山 「だから、過去、そういう馴れ合いが続いてきたから町民が白けているのじゃないですか」

前田 「ありがとうございしました。それでは今日は、これにて」

平山 「ありがとうございしました」



たいしたパン屋さん

海 セン

私は、パン屋のさお秤です。この店にきて五十年になります。となりに座っているはかりも、同じくらい働いている五十年選手のおばさん。私たちは夜になると、いろいろお話をするので、いろいろ今日、店の奥さんと、だいちちゃんの会話は、なんだかおかしかったですね。 ♣「おばちゃん、パンはどうして、ふつくと柔らかくふくれてるの？」 ♡「ああ、そりゃねえ、粉をこねるときにね、まごころをそつとていねいに入れてね、十分ばかりこねるんだよ」 ♣「粉と、まごころでパンになるの。へえ」



♡「ほかにも入れるよ。卵にバター、砂糖にイースト、塩に水だよ」 ♣「おかあさんに、教えてあげよ。でもおばさん、まごころつて、なに？」 ♡「そりゃ、うちのパンの企業秘密だよ。あはは」 ……おくさんは、あんなこと言つてたけど、まごころなんて、わたしたち、計つたことありませんよねえ。 そうですとも。私もずいぶん長く、ここに座つていろいろ計つてきました。イーストはもちろんです、あんこ、クリーム、ジャム、ぶどう、ピーナツ。なんだかんだ計つてきました。まごころと言うものは、まだ計つたことがありませんねえ。もしかして、私たち秤じゃ計れないものなんかしらね。手にも持てないのかも知れませんが、ていねいにそうつと、と言つていましたから。 企業秘密だそうですから、奥さんのとくいわざですかねえ。 すると、うちのパン屋は、たいしたパン屋ですねえ。 そうです。たいしたパン屋さんなんです。 おわり